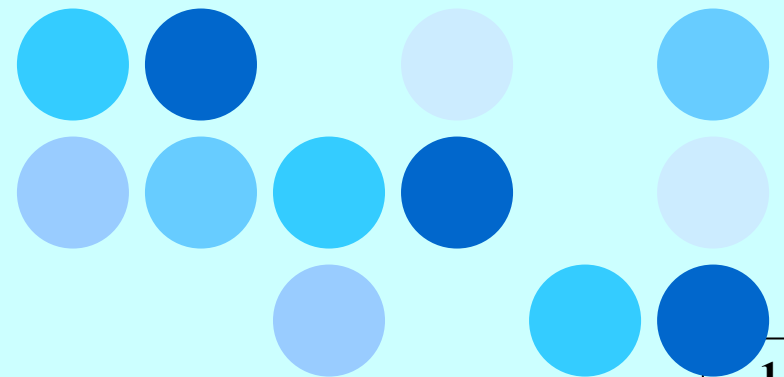


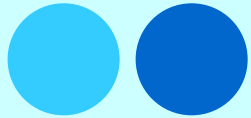


# 平成18年(2006年)3月期 ～投資家向け決算説明会～

2006年4月27日

## オムロン株式会社



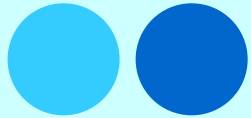


# 目次

1. エグゼクティブサマリー	P. 4
2. 2006年3月期決算報告	P. 7
3. 2007年3月期事業計画	P. 20
4. 利益配分に関する基本方針	P. 41

## <注意>

1. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
2. 連結子会社数は144社、持分法適用関連会社数は17社です。
3. 業績見通し等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なることがあります。  
実際の業績等に影響と与える重要な要因には、(i)当社の事業領域を取り巻く日本および開催の経済情勢、(ii)当社製品・サービスに対する需要動向、(iii)新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(iv)資金調達環境の大幅な変動、(v)他社との提携・協力関係、(vi)為替・株式市場の動向などがあります。  
なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。



# 主な事業内容と略称

事業	事業名称	略称	事業内容
制御部品	インダストリアル・オートメーション・ビジネス	IAB	工場自動化等の制御機器の・製造販売
電子部品	エレクトロニクス・コンポーネンツ・ビジネス	ECB	家電や通信機器、モバイル機器向けの電子部品の製造販売
車載電装品	オートモーティブ・エレクトロニック・コンポーネンツ・ビジネス	AEC	自動車搭載用電子部品の製造販売
公共システム	ソーシャル・システムズ・ビジネス	SSB <small>*注)</small>	自動改札機などの鉄道機器、交通管制システムの製造販売とサービス
健康機器	ヘルスケア・ビジネス	HCB	電子血圧計等の家庭用健康機器、医療用機器の製造販売
その他	事業開発本部ほか	その他	新規事業の探索や、上記部門に属さない事業

\*注) ATM等の金融機器事業は、2004年10月1日に「日立オムロンターミナルソリューションズ株式会社」(日立:55%出資、オムロン:45%出資)へ移管いたしました。

# 1. エグゼクティブサマリー



2006年3月期はグランドデザイン2010(GD2010)の第2ステージ(2004年4月～2008年3月)の2年目  
第2ステージ目標達成に向けたマイルストーンと位置づけ「強靱な収益構造への前進」を図る

## 2006年3月期決算

売上、利益ともに、当初計画をほぼ達成し、4期連続の増収増益。過去最高売上、利益を達成

(連結業績)	実績	前期比	計画比	
売上高	6,268億円	103.0%	100.3%	
営業利益	621億円	110.7%	95.6%	(営業利益率 9.9%)
税前利益	644億円	122.5%	102.1%	(税前利益率 10.3%)
当期利益	358億円	118.5%	99.3%	(当期利益率 5.7%)

### ①連結売上高:計画通り

前期比3.0%増加は制御機器事業(IAB)、車載事業(AEC)、健康機器(HCB)の好調

### ②営業利益: 計画比4.4%減少は、プロダクトミックスが主たる要因 (詳細は差異分析 P12参照)

前期比10.7%増加は代行返上益による(詳細は差異分析 P11参照)

### ③税前利益: 前期比22.5%増加は保有株式の売却益計上が寄与

### ④事業状況: 売上は、電子部品事業(ECB)以外は堅調に推移。利益面では、ECBと車載事業(AEC)が苦戦

## 2007年3月期計画とポイント

5期連続増収増益を狙うとともに、08年3月期PL計画達成に向けて利益成長投資に重点を置く

(連結業績見通し)	通期	前期比	
売上高	7,000億円	111.7%	
営業利益	630億円	101.4%	(営業利益率 9.0%)
税前利益	650億円	101.0%	(税前利益率 9.3%)
当期利益	375億円	104.9%	(当期利益率 5.4%)

\*前提条件 : 既発表のM&A案件(2件)によるPL影響数値は含まず

## 中期目標進捗状況

2006年3月末の事業価値の総和は当社独自の試算では約9,400億円で、2008年3月期の目標達成に向け順調に推移

2007年3月期は、5期連続増収増益、過去最高の売上／利益実現を見込む

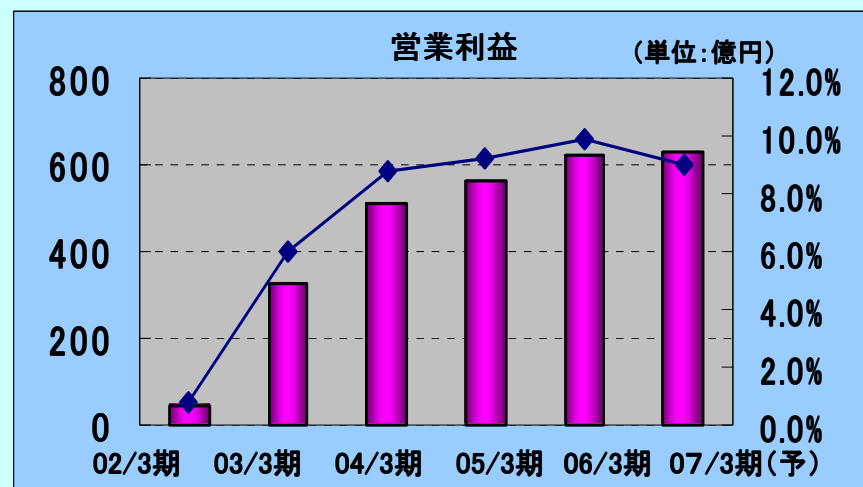
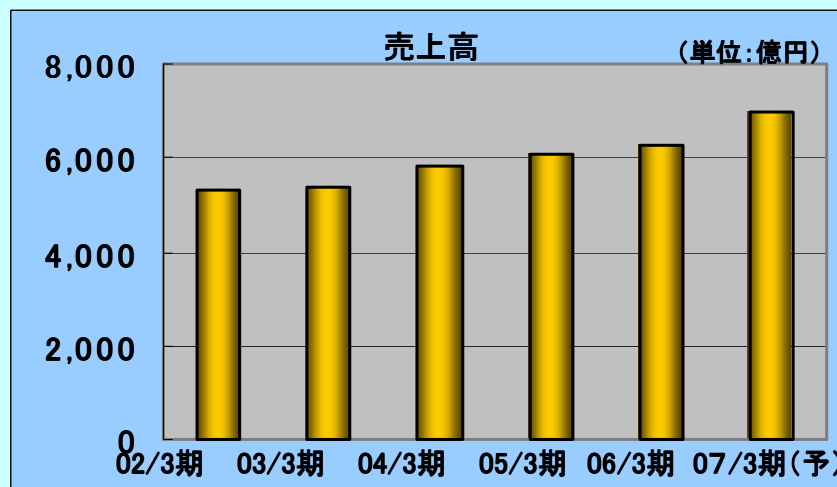
(単位:億円)

	2002年3月期	2003年3月期	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期	2007年3月期(予)
売上高	5,340	5,351	5,849	6,086	6,268	7,000
売上総利益	1,805	2,077	2,401	2,498	2,534	2,820
営業利益	42	323	514	561	621	630
営業利益率	0.8%	6.0%	8.8%	9.2%	9.9%	9.0%
当期利益	-158	5	268	302	358	375
EPS(円)	▲63.50	2.07	110.66	126.52	151.14	159.95

<為替レート>

(単位:円)

	2002年3月期	2003年3月期	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期	2007年3月期(予)
USD	125.7	122.1	113.4	107.3	113.4	110.0
EUR	110.9	121.1	132.4	135.0	138.2	135.0



## 2. 2006年3月期 決算報告



# 連結損益計算書

**売上高6,268億円 営業利益率9.9%**  
 連結売上高は計画どおり。営業利益は前期比増、計画比減。  
 税前利益は前年・計画ともに上回る。

<損益計算書>

(単位:億円)

全社P/L	2005年 3月 実績	2006年 3月 実績	前期比 増減 %	2006年 3月 当初計画	計画比 増減 %
売上高	6,086	6,268	103.0%	6,250	100.3%
売上総利益	2,498	2,534	101.4%	2,560	99.0%
販管費	1,442	1,527	105.9%	1,500	101.8%
R&D費	494	505	102.1%	500	101.0%
代行返上益	-	119	-	90	132.3%
営業利益	561	621	110.7%	650	95.6%
税前利益	525	644	122.5%	630	102.1%
当期利益	302	358	118.5%	360	99.3%

<為替レート>

(単位:円)

USD	107.3	113.4	+6.1	100.0	+13.4
EUR	135.0	138.2	+3.2	130.0	+8.2



国内外ともに、ほぼ計画どおり  
セグメント別では、電子部品(ECB)以外は堅調に推移

(単位:億円)

エリア別	2005年 3月期 実績	2006年 3月期 実績	前期比 増減 %	2006年 3月期 当初計画	計画比 増減 %
国内	3,661	3,549	96.9%	3,580	99.1%
海外**	2,425	2,719	112.1%	2,670	101.9%
合計	6,086	6,268	103.0%	6,250	100.3%

\*\*直接貿易は海外に含む

カンパニー別	実績	実績	%	当初計画	%
IAB	2,503	2,727	108.9%	2,675	101.9%
ECB	1,011	977	96.6%	1,140	85.7%
AEC	646	776	120.2%	720	107.8%
SSB	1,152	918	79.7%	910	100.9%
HCB	506	611	120.8%	540	113.1%
その他	268	259	96.9%	265	97.9%
合計	6,086	6,268	103.0%	6,250	100.3%

## 連結営業利益

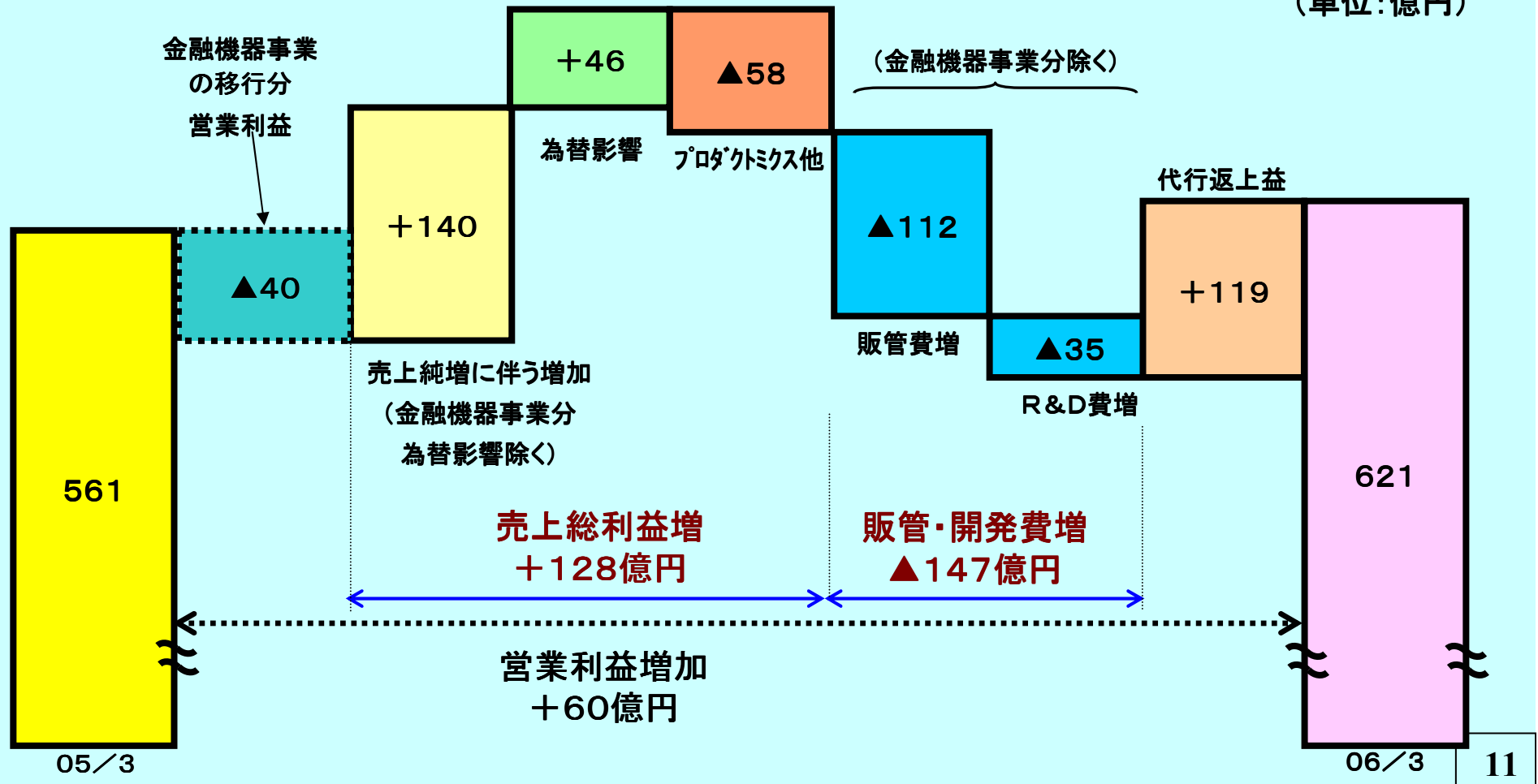
制御機器事業(IAB)はほぼ計画どおり／電子部品(ECB)は苦戦  
車載(AEC)は北米生産プロセス改善のコスト増によりマイナス

(単位:億円)

カンパニー別	2005年 3月期 実績	2006年 3月期 実績	前期比 増減 %	2006年 3月期 当初計画	当初計画比 増減 %
IAB	414	419	101.2%	420	99.8%
ECB	161	112	69.7%	160	69.9%
AEC	-9	-20	-	25	-
SSB	64	44	68.9%	30	147.8%
HCB	76	87	113.5%	85	101.8%
その他	38	17	44.0%	20	83.6%
本社費他消去	-184	-157	85.6%	-180	87.3%
代行返上	-	119	-	90	132.2%
合計	561	621	110.7%	650	95.6%

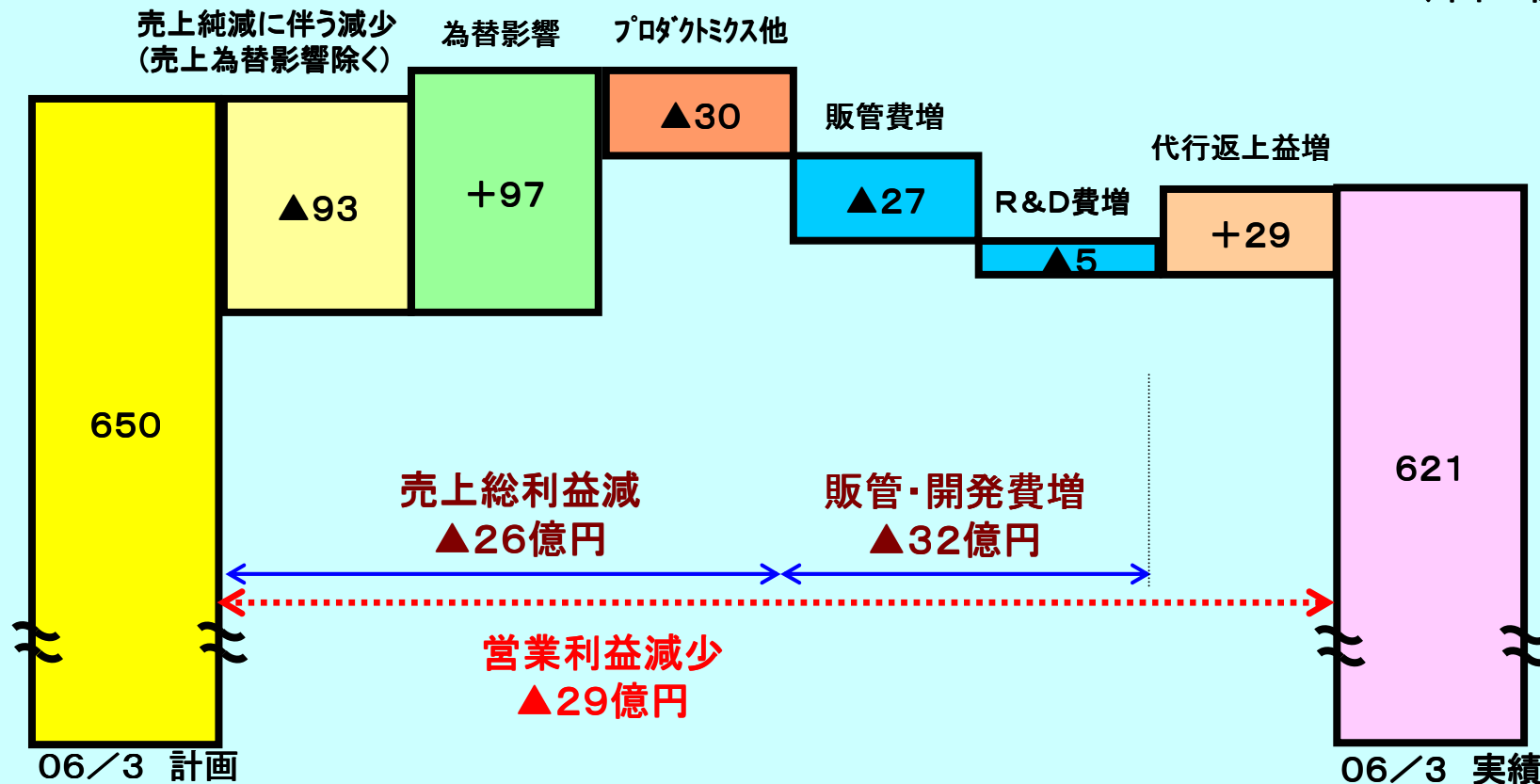
成長投資及び規制化学物質対応に伴う販管費・R&D費の増加が大きいものの  
代行返上益により営業利益は前期を上回る

(単位:億円)



売上減および売価ダウン等の影響により売上総利益の減少を  
代行返上益増加でカバーできず、営業利益は計画を下回る

(単位:億円)



2006年3月期  
決算報告

# セグメント別情報-制御機器事業

## IAB：インダストリアル・オートメーション・ビジネス



工場自動化用、産業機器用の制御システム・機器の製造・販売

センシング機器（光電・近接センサ、基板検査装置など）  
 コントロール機器（PLC、温度調節器、リレー、タイマなど）  
 セーフティ機器（セーフティセンサ、セーフティスイッチなど）

売上高2,727億円、営業利益率15.4%  
 国内計画どおり、北米堅調、中華圏は回復傾向

(単位:億円)

IAB	2005年 3月 実績	2006年 3月 実績	前期比 増減 %	2006年 3月 当初計画	計画比 増減 %
国内売上高	1,302	1,362	104.6%	1,355	100.5%
海外売上高	1,201	1,365	113.6%	1,320	103.4%
北米	203	254	125.0%	211	120.4%
欧州	656	696	106.1%	703	99.0%
アジア	104	127	122.3%	115	110.4%
中華圏	195	240	122.9%	248	96.6%
貿易分	43	48	112.1%	43	112.5%
売上総合計	2,503	2,727	108.9%	2,675	101.9%
営業利益	414	419	101.2%	420	99.8%

### スマートセンサ



### プログラマブルコントローラ



### 基板検査装置



2006年3月期  
決算報告

# セグメント別情報-電子部品事業

## ECB: エレクトロニクス・コンポーネンツ・ビジネス



家電、通信機器、携帯電話、アミューズメント機器、OA機器向けの  
電子部品の製造・販売

リレー、スイッチ、コネクタ、センサー、マイクロレンズ・アレイ、  
カスタムIC、ICコイン、光通信デバイスなど

**売上高977億円、営業利益率11.5%**  
**液晶BL・アミューズメント機器が苦戦、海外も計画届かず**

(単位:億円)

ECB	2005年 3月 実績	2006年 3月 実績	前期比 増減 %	2006年 3月 当初計画	計画比 増減 %
国内売上高	518	450	86.9%	550	81.9%
海外売上高	493	527	106.7%	590	89.3%
北米	95	99	104.3%	101	98.0%
欧州	120	125	104.5%	133	94.1%
アジア	56	63	112.3%	64	98.0%
中華圏	116	145	125.7%	185	78.5%
貿易分	107	95	88.1%	107	88.5%
売上総合計	1,011	977	96.6%	1,140	85.7%
営業利益	161	112	69.7%	160	69.9%

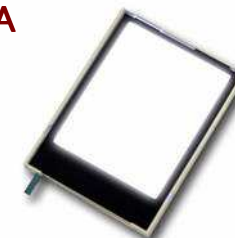
### コネクタ



### リレー



### 液晶画面用バックライト B-MLA



2006年3月期  
決算報告

# セグメント別情報-車載電装品事業

## AEC:オートモーティブ・エレクトロニック・コンポーネンツ



### 自動車搭載用電子部品の製造・販売

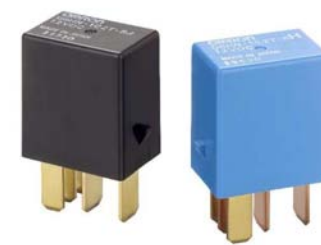
車載用リレー、センサー、レーザーレーダー、パワーウインドースイッチ、キーレスリモートスイッチ、ECUなど

売上高776億円で、前期比20%増加するも  
北米生産拠点のプロセス改善に伴う  
経費増により営業利益マイナス

(単位:億円)

AEC	2005年 3月 実績	2006年 3月 実績	前期比 増減 %	2006年 3月 当初計画	計画比 増減 %
国内売上高	260	272	104.8%	280	97.3%
海外売上高	386	504	130.6%	440	114.4%
北米	210	288	136.9%	244	118.1%
欧州	54	62	115.7%	64	97.4%
アジア	119	151	127.6%	131	115.5%
中華圏	0	1	-	1	132.0%
貿易分	3	0	15.7%	0	-
売上総合計	646	776	120.2%	720	107.8%
営業利益	-9	-20	-	25	-

### 車載用プラグインリレー



### パワーウインドースイッチ



### レーザーレーダー



2006年3月期  
決算報告

# セグメント別情報-公共システム事業

## SSB:ソーシャル・システムズ・ビジネス \*



駅務・交通分野への機器/モジュールの製造・販売および  
ソリューション/サービスの提供

自動改札機、券売機、精算機等の駅務機器  
信号制御、道路管制機器等の交通機器

**売上高918億円 営業利益率4.8%**  
売上・利益ともに計画を上回る

(単位:億円)

SSB	2005年 3月 実績	2006年 3月 実績	前期比 増減 %	2006年 3月 当初計画	計画比 増減 %
国内売上高	1,086	905	83.3%	880	102.8%
海外売上高	66	13	20.3%	30	44.5%
北米	2	2	96.4%	9	20.6%
欧州	4	0	0.0%	0	-
アジア	0	0	-	0	-
中華圏	0	0	-	0	-
貿易分	60	11	19.1%	21	54.4%
売上総合計	1,152	918	79.7%	910	100.9%
営業利益	64	44	68.9%	30	147.8%

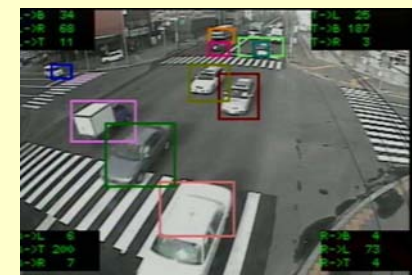
自動改札機



自動精算機



交通/道路管理システム



\*注) 2005年3月期の実績は、ATM等の金融機器事業の上期(2004年9月まで)実績を含む



2006年3月期  
決算報告

# セグメント別情報-健康機器事業

## HCB:ヘルスケア・ビジネス



### 家庭用および医療用健康機器の製造・販売

電子血圧計、電子体温計、ネブライザー、歩数計、体組成計(体脂肪計)、  
低周波治療機、マッサージ機器

**売上高611億円、営業利益率14.2%**  
**前期比及び計画比売上増加の要因はCMT買収\***

(単位:億円)

HCB	2005年 3月 実績	2006年 3月 実績	前期比 増減 %	2006年 3月 当初計画	計画比 増減 %
国内売上高	231	303	131.6%	250	121.3%
海外売上高	275	308	111.7%	290	106.1%
北米	146	154	105.6%	150	102.7%
欧州	89	106	119.4%	89	118.9%
アジア	14	16	116.3%	15	108.7%
中華圏	26	29	114.1%	33	88.1%
貿易分	1	2	180.8%	3	78.3%
売上総合計	506	611	120.8%	540	113.1%
営業利益	76	87	113.5%	85	101.8%

### 血圧計



### 体組成計(カラダスキャン)



### 携帯型心電計



\*注) 2006年3月期の実績は、コーリンメディカルテクノロジー(CMT)実績(05年7月~06年3月 9ヶ月間)を含む

## 連結貸借対照表

代行返上により、その他負債(退職給付債務含む)の大幅減、および株主資本の増加  
株主資本比率は前期末52.2%から61.6%へ上昇

(単位:億円)

全社 B/S	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期
総資産	5,923	5,854	5,891
現預金	951	806	523
売上債権	1,221	1,217	1,363
在庫	703	686	750
その他流動資産	288	250	288
固定資産	2,760	2,895	2,967
総負債	3,176	2,796	2,262
短期借入金	455	229	28
長期借入金	112	18	10
その他負債	2,609	2,549	2,224
資本	2,747	3,058	3,629

将来に向けた投資や事業買収により  
投資活動によるキャッシュアウトは対前期比69億円の増加

(単位:億円)

	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期
営業活動によるC/F	807	611	517
投資活動によるC/F	▲345	▲361	▲430
FCF	462	250	87
財務活動によるC/F	▲281	▲407	▲383
換算レート変動の影響	▲29	12	13
期中の増減額	151	▲144	▲283
期末の現金残高	951	806	523

## 3. 2007年3月期 事業計画



## 06年度方針

### 「増益基調での成長加速」

～ 2008年3月期業績目標に成長前倒しで迫る ～

## 基本スタンス

- 2007年3月期はグラントデザイン2010(GD2010)\*の第2ステージ目標実現へ向けた最終マイルストーン
- 代行返上益インパクトを吸収し増益の確保を前提にGD2010目標達成に必要な投資を着実に実行

2008年3月期業績シナリオ 売上高 7,500億円以上 営業利益 750億円以上

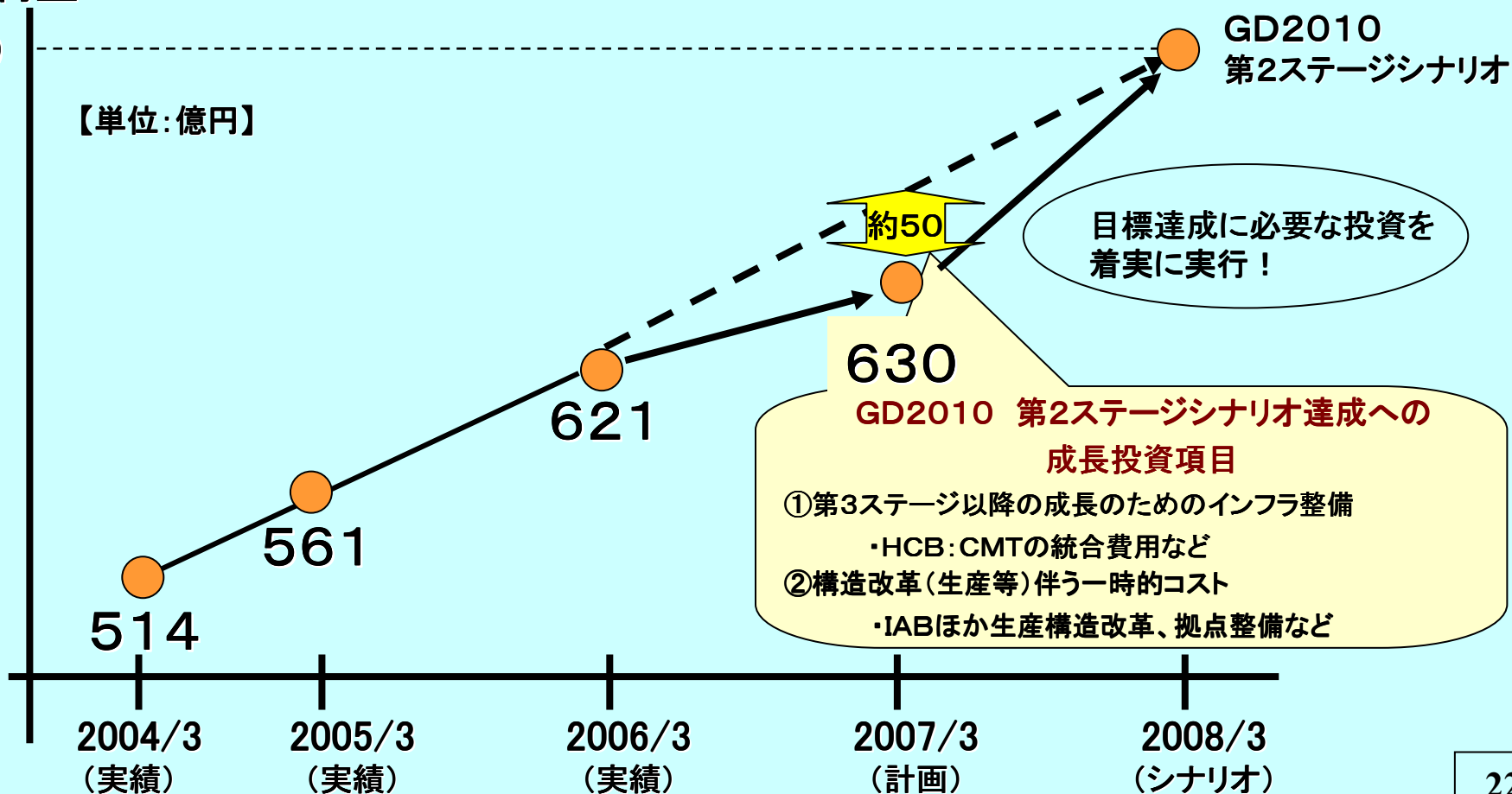
\*グラントデザイン2010(GD2010)・・・2001年4月～2011年3月までの10年間の長期経営ビジョン

GD2010 第2ステージ最終年度に向け、一時的な構造改革費用を含む成長投資を継続するため、営業利益の伸びが一時的に減速

## 営業利益

750

【単位:億円】



## 事業環境認識

IAB	<ul style="list-style-type: none"><li>・自動車業界の投資意欲に大きな変化なし。IT関連業界も成長投資を引き続き期待。</li><li>・既存設備の高度化を目的とした投資が増加。品質・安全・環境関連で成長期待。</li></ul>
ECB	<ul style="list-style-type: none"><li>・産業用部品市場は全般的に強含み、業務民生用では、薄型TVの伸びを見込む。</li><li>・通信は欧米で堅調、携帯電話関連は中国市場の伸び、国内の地上デジタルなど活性化。</li></ul>
AEC	<ul style="list-style-type: none"><li>・世界的に自動車の生産台数は増加傾向。電装化率の高まりにより成長を期待。</li><li>・安心・安全をキーワードにモジュールビジネスの成長を期待。</li></ul>
SSB	<ul style="list-style-type: none"><li>・駅務機器では、関東のICカード共通化がピークで売上成長を見込む。</li><li>・セキュリティ関連など、新規ビジネス領域の拡大を期待。</li></ul>
HCB	<ul style="list-style-type: none"><li>・国内・欧州・中国での血圧計の大幅な伸びを期待。</li><li>・体組成計は大幅な伸び、新規カテゴリ(心電計など)の成長を期待。</li></ul>

# 連結損益計算書の計画

5期連続の増収増益により、過去最高売上・利益の更新を目指し、2008年3月期のPL計画達成に向けた成長投資に重点を置く

前提条件：既発表のM&A（2件）の数値は含まず。

（単位：億円）

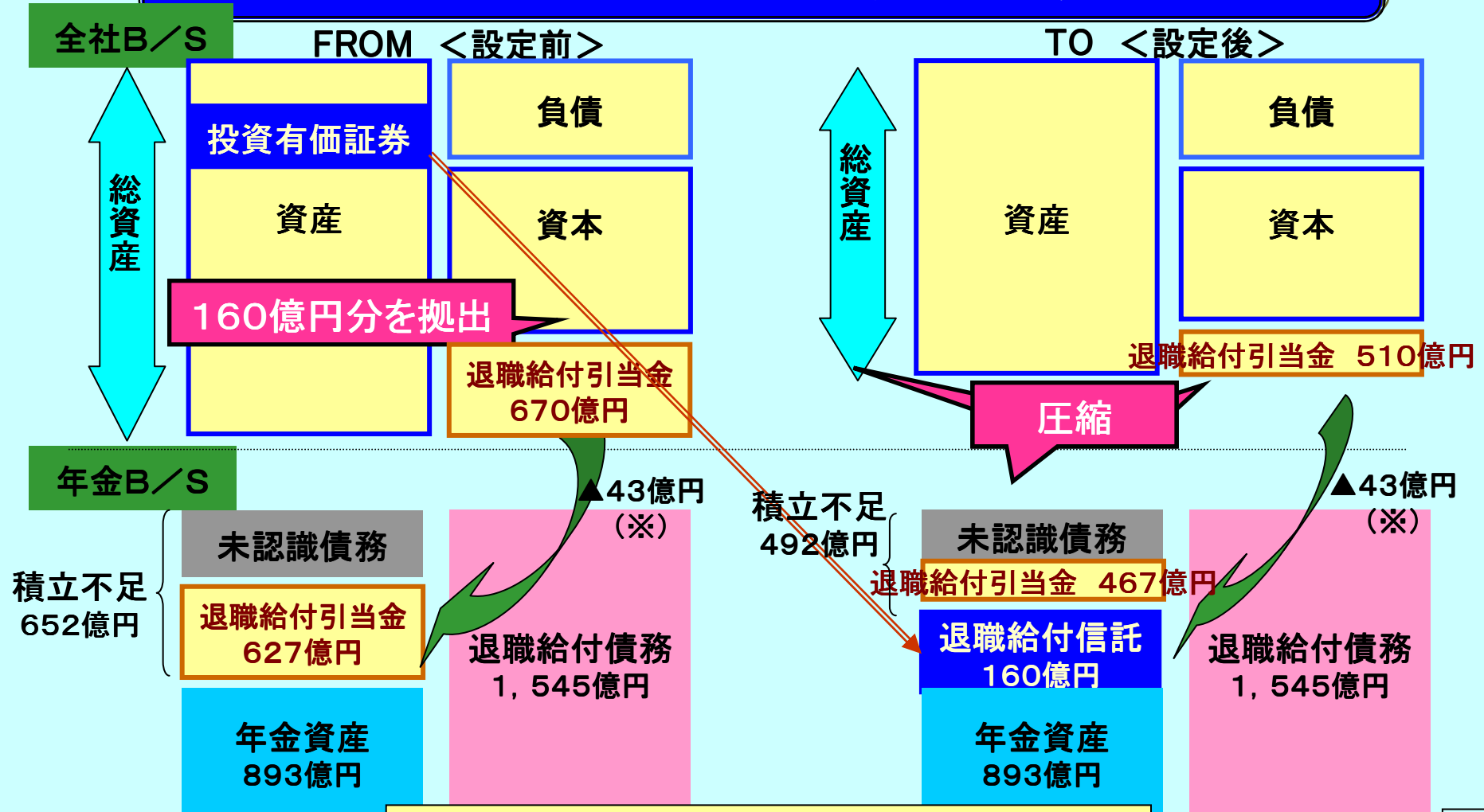
	2005年 3月期 実績	2006年 3月期 実績	2007年 3月期 計画	前期比 増減 %
売上高	6,086	6,268	7,000	111.7%
売上総利益	2,498	2,534	2,820	111.3%
販管費	1,442	1,527	1,635	107.1%
R&D費	494	505	555	109.9%
代行返上益	—	119	—	
営業利益	561	621	630	101.4%
営業外損益	36	-22	* -20	90.9%
税前利益	525	644	650	101.0%
当期利益	302	358	375	104.9%
ROE	10.4%	10.7%	11.0%	+0.3
為替レート				
USD	107.3	113.4	110	-3.4
EUR	135.0	138.2	135	-3.2

\* 営業外：①退職給付信託設定に係る益(101億円)→次ページで詳細説明、②東京本社売却に係る費用を含む。



# 連結貸借対照表の変化の見通し

退職給付信託設定により保有株式をオフバランス  
グループ総資産の圧縮によるB/Sの改善と、年金積立不足を圧縮



(※) 基金制度未加入の連結子会社の影響等を除く

IABを含めた主力事業の強化を図る  
成長領域の多いECBへ成長投資

(単位:億円)

	05年3月期	06年3月期	07年3月期計画
IAB	88	102	110
ECB	91	72	120
AEC	76	119	90
SSB	41	43	40
HCB	21	15	20
その他・本社機構	58	60	70
設備投資合計	374	411	450
減価償却費	286	308	330

成長率は112%(国内106%、海外119%)  
セグメントでは、ECB、AECで10%以上の成長を見込む

(単位:億円)

エリア別	2005年 3月期 実績	2006年 3月期 実績	2007年 3月期 計画	前期比 増減 %
国内	3,661	3,549	3,765	106.1%
海外**	2,425	2,719	3,235	119.0%
合計	6,086	6,268	7,000	111.7%

\*\*直接貿易は海外に含む

カンパニー別	実績	実績	計画	%
IAB	2,503	2,727	2,980	109.3%
ECB	1,011	977	1,215	124.4%
AEC	646	776	910	117.3%
SSB	1,152	918	990	107.8%
HCB	506	611	665	108.9%
その他	268	259	240	92.5%
合計	6,086	6,268	7,000	111.7%

IABは堅調を維持し、ECB、AECは収益を回復  
過去最高益の更新を目指す

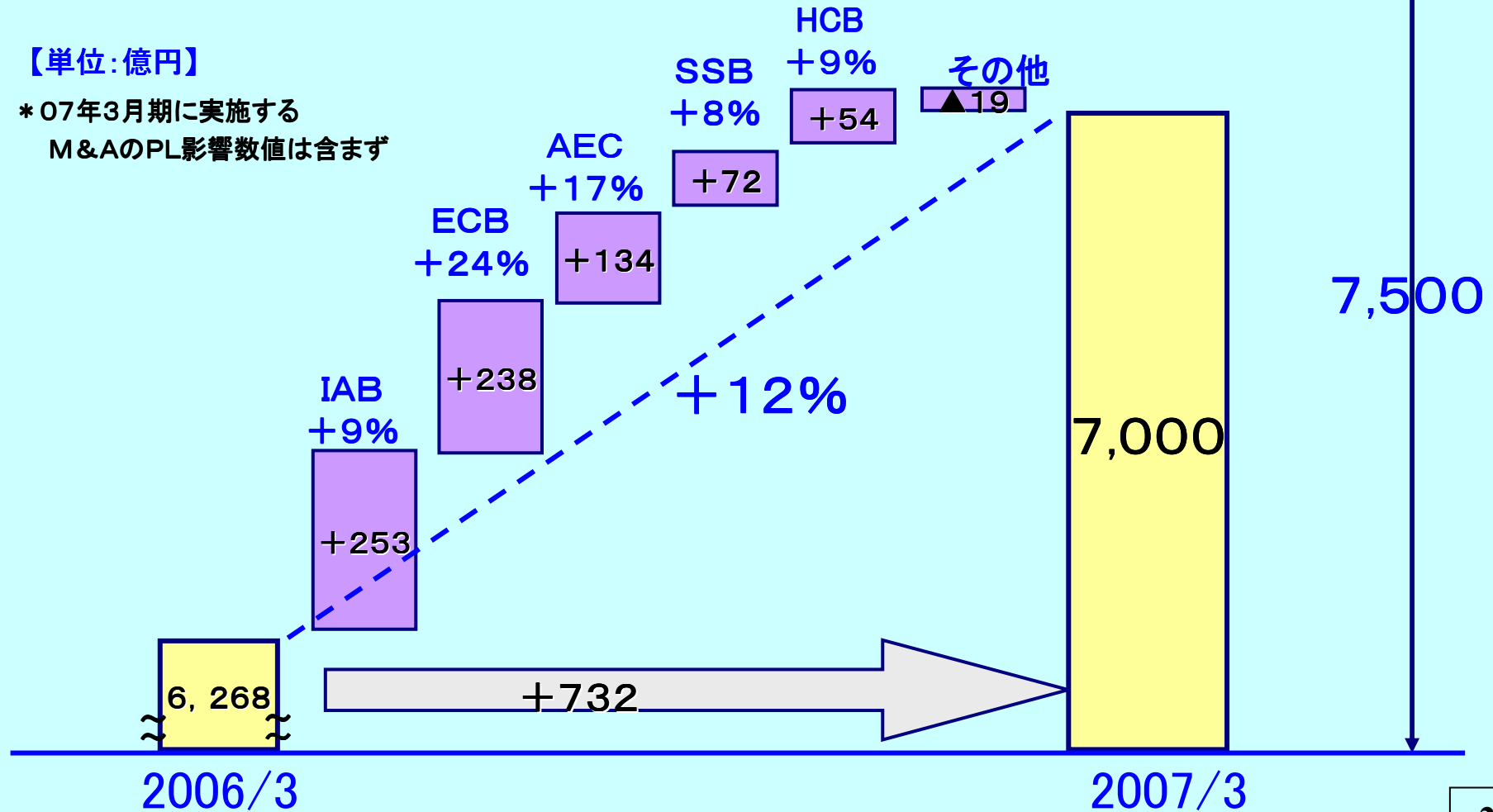
(単位:億円)

カンパニー別	2005年 3月期 実績	2006年 3月期 実績	2007年 3月期 計画	前期比 増減 %
IAB	414	419	480	114.5%
ECB	161	112	145	129.6%
AEC	-9	-20	30	-
SSB	64	44	60	135.3%
HCB	76	87	85	98.2%
その他	38	17	5	29.9%
本社費他消去	-184	-157	-175	111.4%
代行返上益	-	119	-	
合計	561	621	630	101.4%

各セグメントで積極的な売上成長を計画  
2008/3期目標の7,500億円を射程距離に

【単位:億円】

\* 07年3月期に実施する  
M&AのPL影響数値は含まず



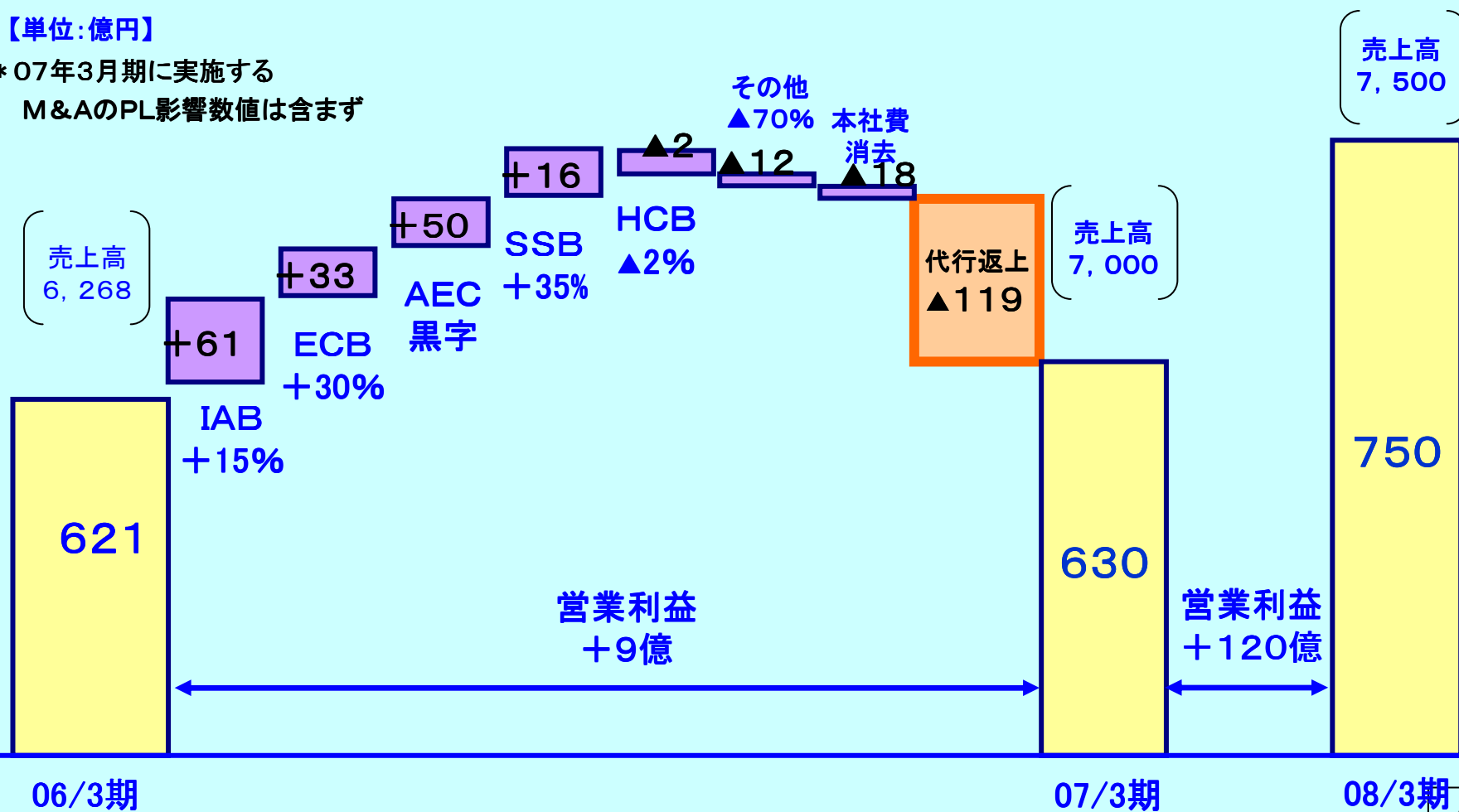
## セグメント

IAB	<ul style="list-style-type: none"><li>・提案型営業力の強化。特にAOI(基板検査装置)事業、セーフティコンポ事業、アプリケーションセンサ事業に注力。地域では、特に中国での本格成長を見込む。</li></ul>
ECB	<ul style="list-style-type: none"><li>・高い成長が期待できる大型バックライト、小型バックライト事業に注力。</li><li>・アミューズメントのシステム、コンポ事業拡大に期待。</li></ul>
AEC	<ul style="list-style-type: none"><li>・安全に視点を置いた新規領域の商品に注力。好調な事業環境を背景にコンポの伸びにも期待。</li><li>・新たに生産拠点を設立した中国での売上成長に期待。</li></ul>
SSB	<ul style="list-style-type: none"><li>・駅務機器分野で関東IC化のピークとなる年。機器の更新・改造、ソフトの変更等売上増を見込む。</li><li>・新規領域としてセキュリティ分野の事業に注力。</li></ul>
HCB	<ul style="list-style-type: none"><li>・生活習慣病の予防と早期発見をミッションとし、高血圧や肥満の予防医療事業へ注力。</li><li>・エリアでは、中国、ロシアに注力。血圧計は日本、欧州、中国で大幅な伸びを期待。</li></ul>

## IAB、ECB、AECで大幅増 08/3期の目標達成に必要な投資の実行かつ増益確保

【単位:億円】

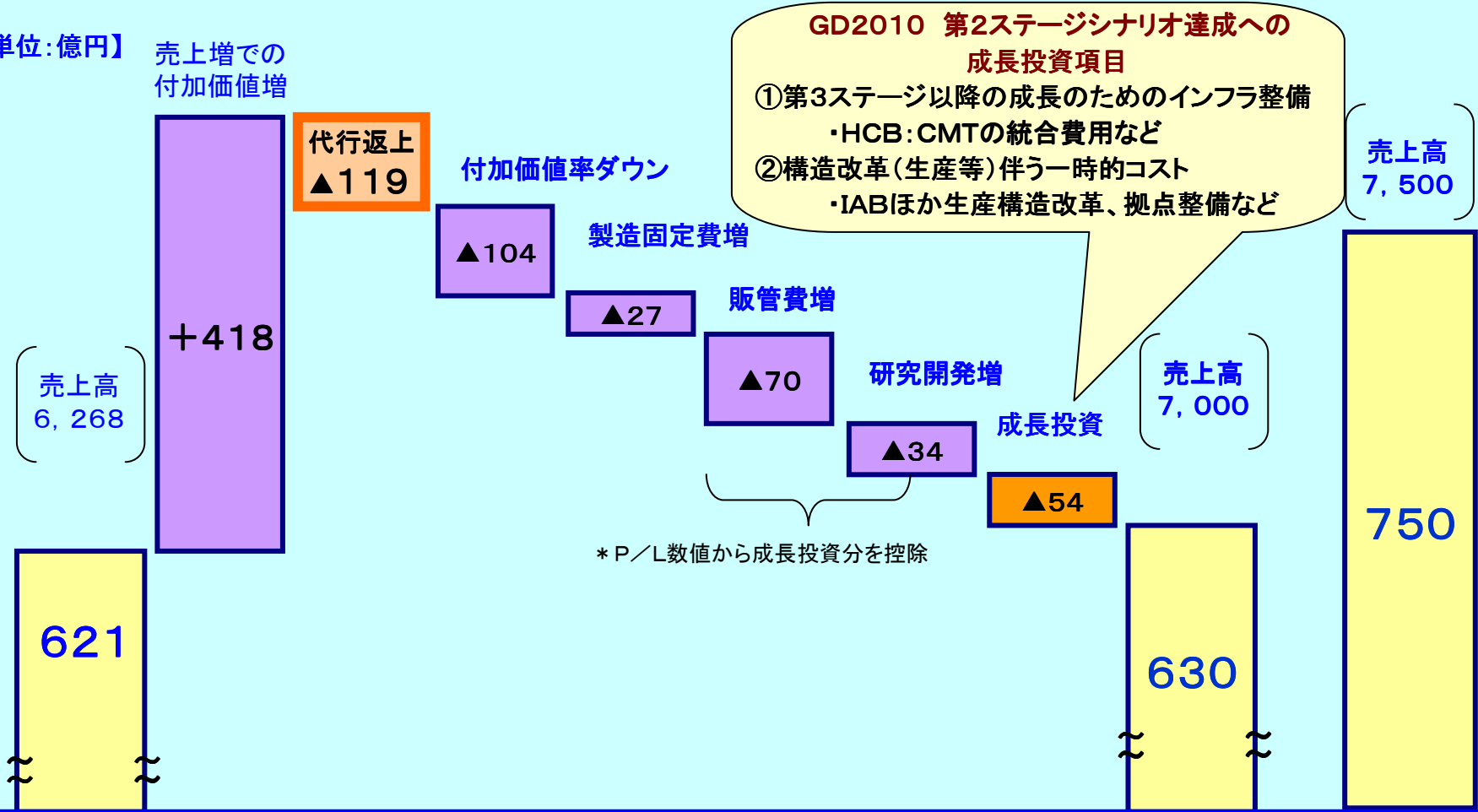
\* 07年3月期に実施する  
M&AのPL影響数値は含まず



## 成長へ向けた投資のため 販管費／研究費を大幅増

【単位:億円】

売上増での  
付加価値増



GD2010 第2ステージシナリオ達成への  
成長投資項目

- ①第3ステージ以降の成長のためのインフラ整備  
・HCB:CMTの統合費用など
- ②構造改革(生産等)伴う一時的コスト  
・IABほか生産構造改革、拠点整備など

\* P/L数値から成長投資分を控除

06/3期

07/3期

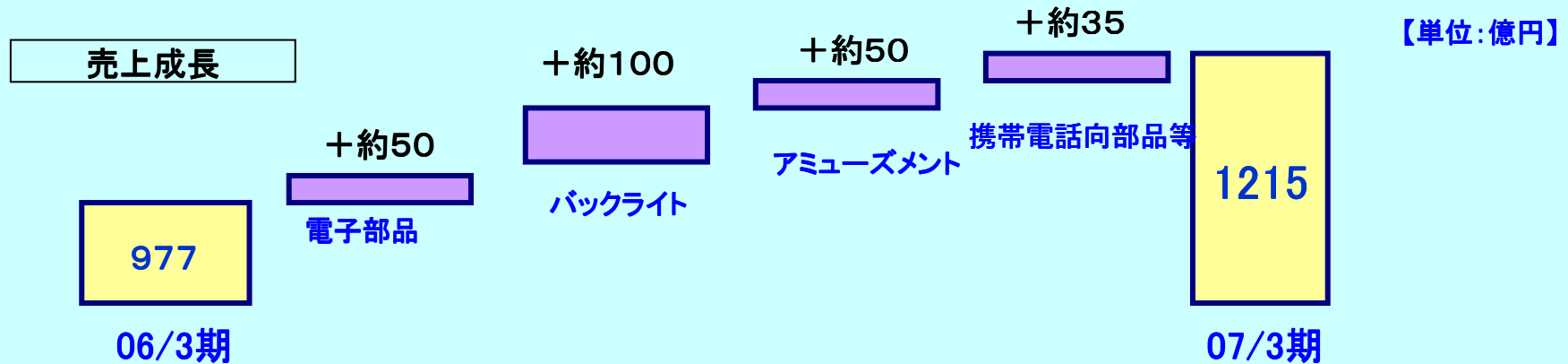
08/3期



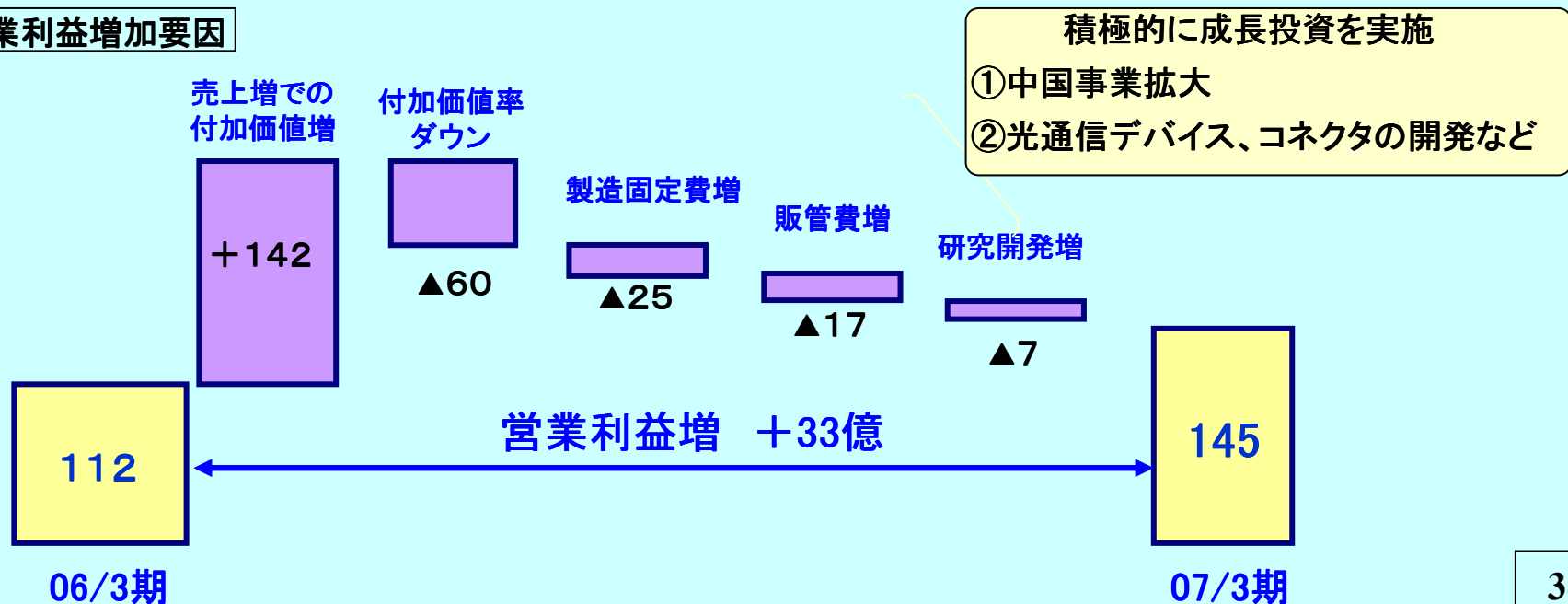
## セグメント

IAB	<ul style="list-style-type: none"><li>・構造改革(生産統合)に係る一時的費用、グローバルサービスセンタ設立など</li><li>・成長事業 (PLC、AOI、セーフティコンポなど)への投資</li></ul>
ECB	<ul style="list-style-type: none"><li>・中国事業の拡大、コネクタ事業の拡大など</li><li>・コネクタ、光通信、リレー、バックライトの開発など</li></ul>
AEC	<ul style="list-style-type: none"><li>・成長商品(レーザーレーダ、電動パワステなど)への開発強化など (北米生産拠点の収益改善を中心に収益回復を最優先)</li></ul>
SSB	<ul style="list-style-type: none"><li>・固定費構造改革(人員シフト)による一時的費用 (収益率向上を最優先)</li></ul>
HCB	<ul style="list-style-type: none"><li>・新規カテゴリ市場導入費用、開発費など</li><li>・成長カテゴリのマーケティング費用、インフラ構築費用など</li></ul>

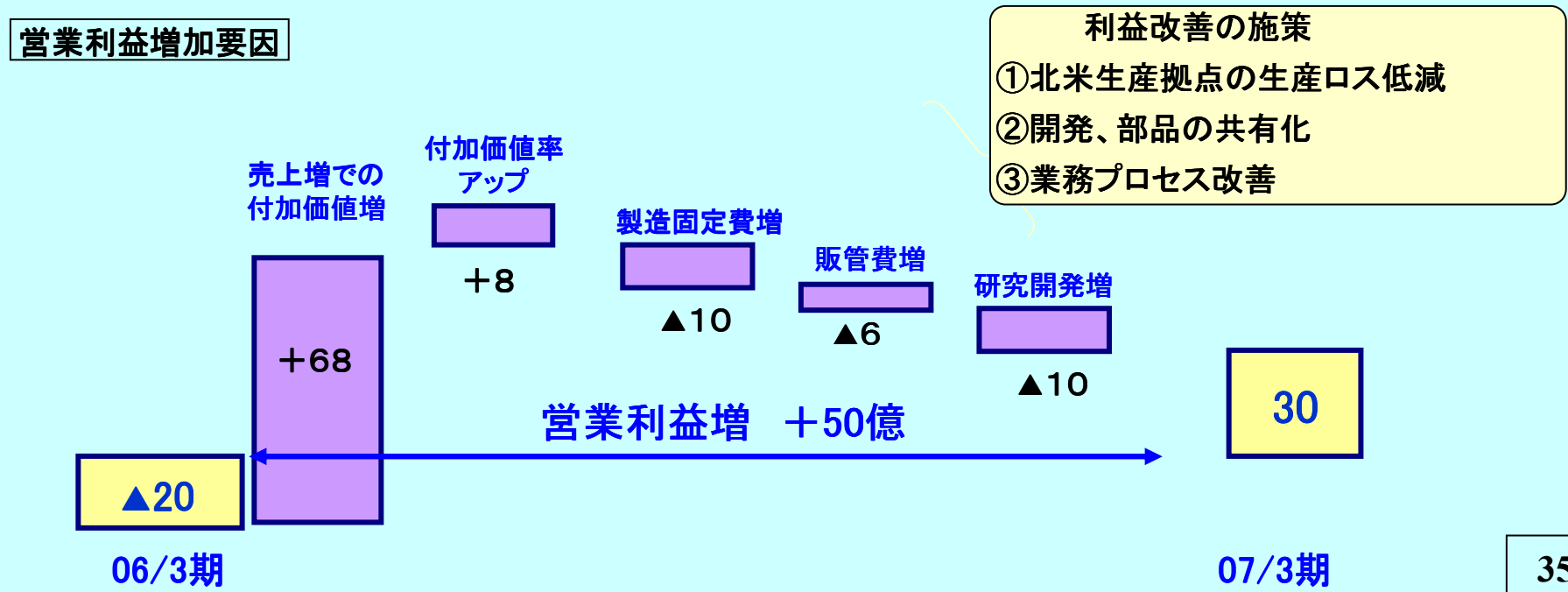
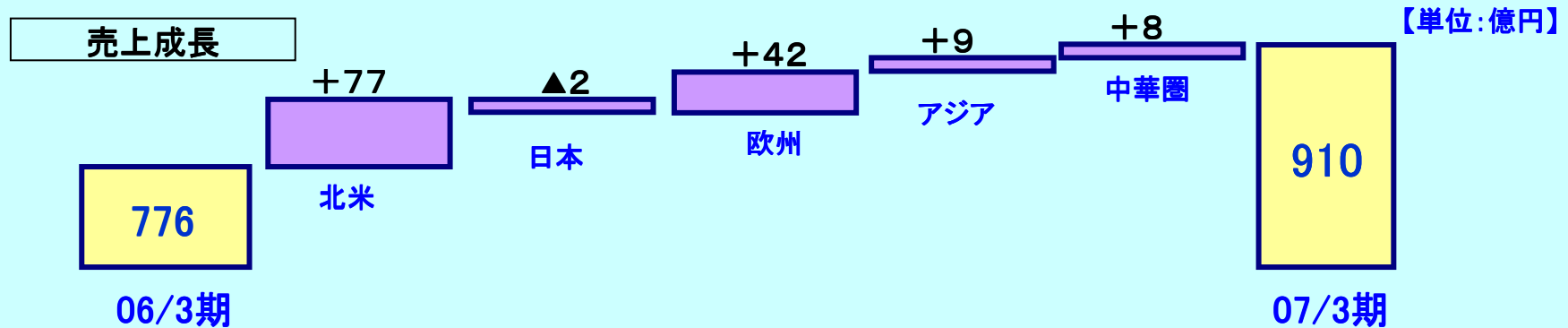
## バックライト事業、アミューズメント事業の回復



### 営業利益増加要因

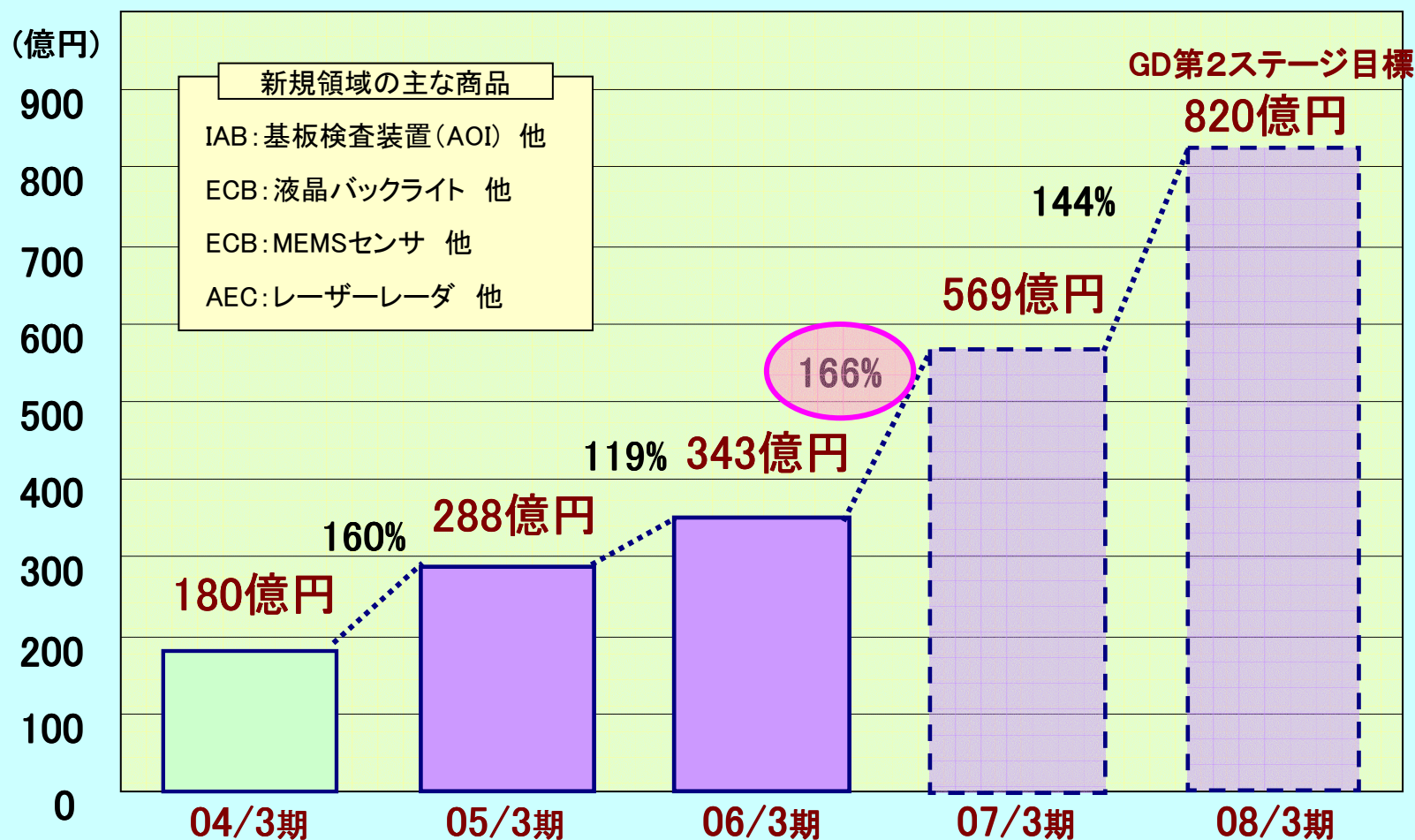


## 北米生産拠点を生産性向上



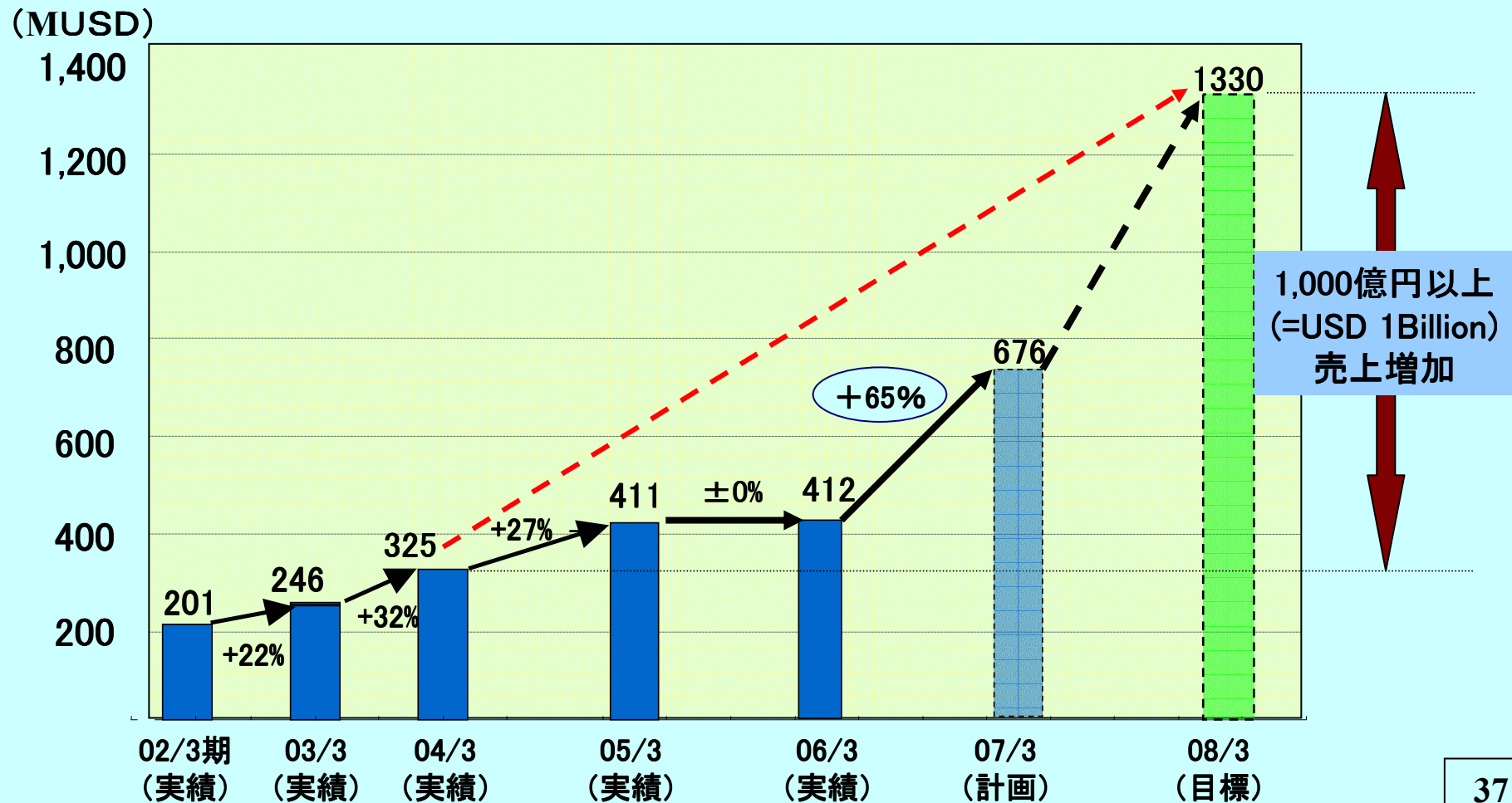
# 重点戦略の進捗状況 (1)新規領域の売上成長

08/3期売上目標を当初680億円から820億円に増額する  
07/3期は166%成長の569億円をめざす



# 重点戦略の進捗状況 (2) 中華圏の売上成長

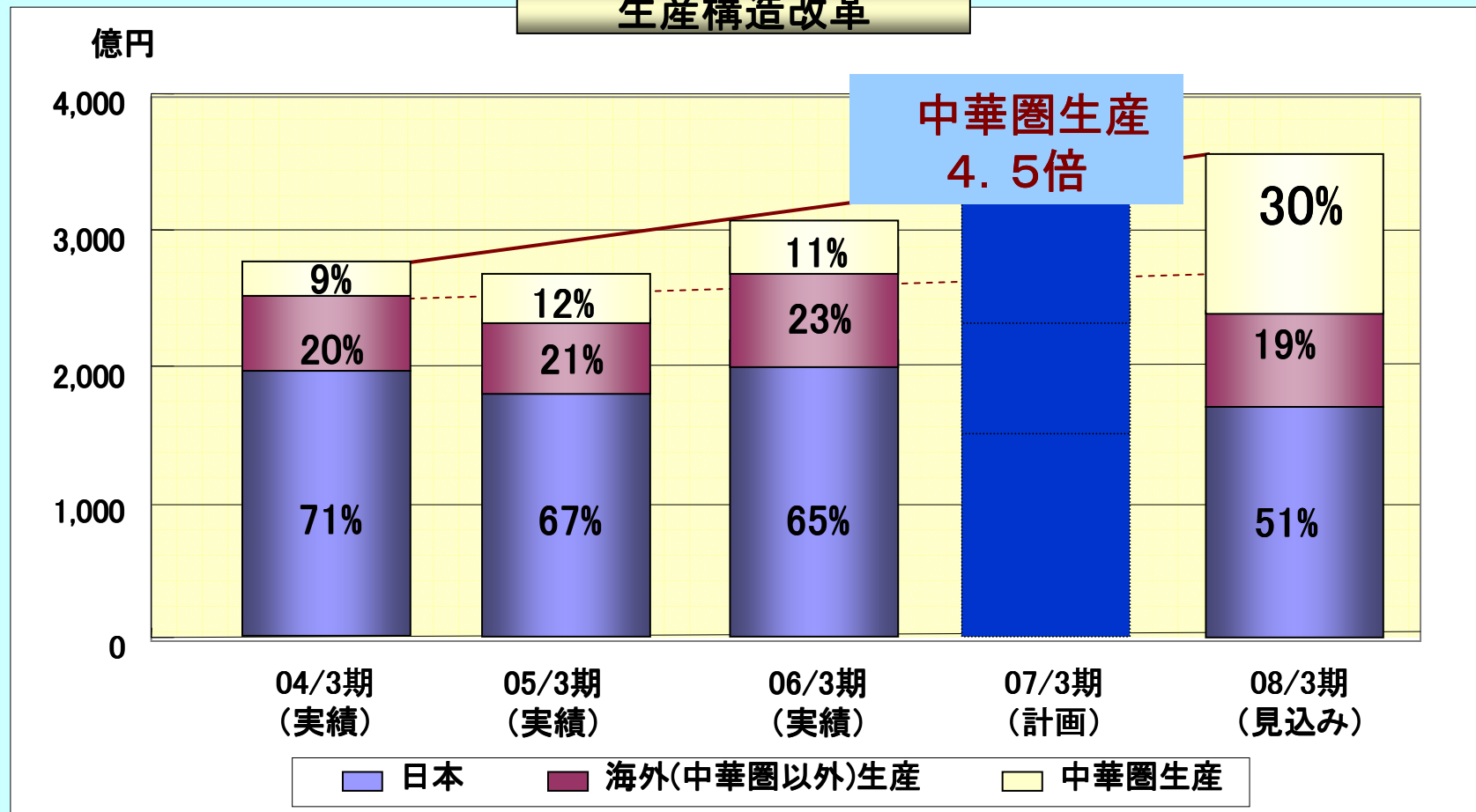
2008年3月期 M&Aも含む1330MUSDの目標は変えない



# 重点戦略の進捗状況 (3) 生産構造改革

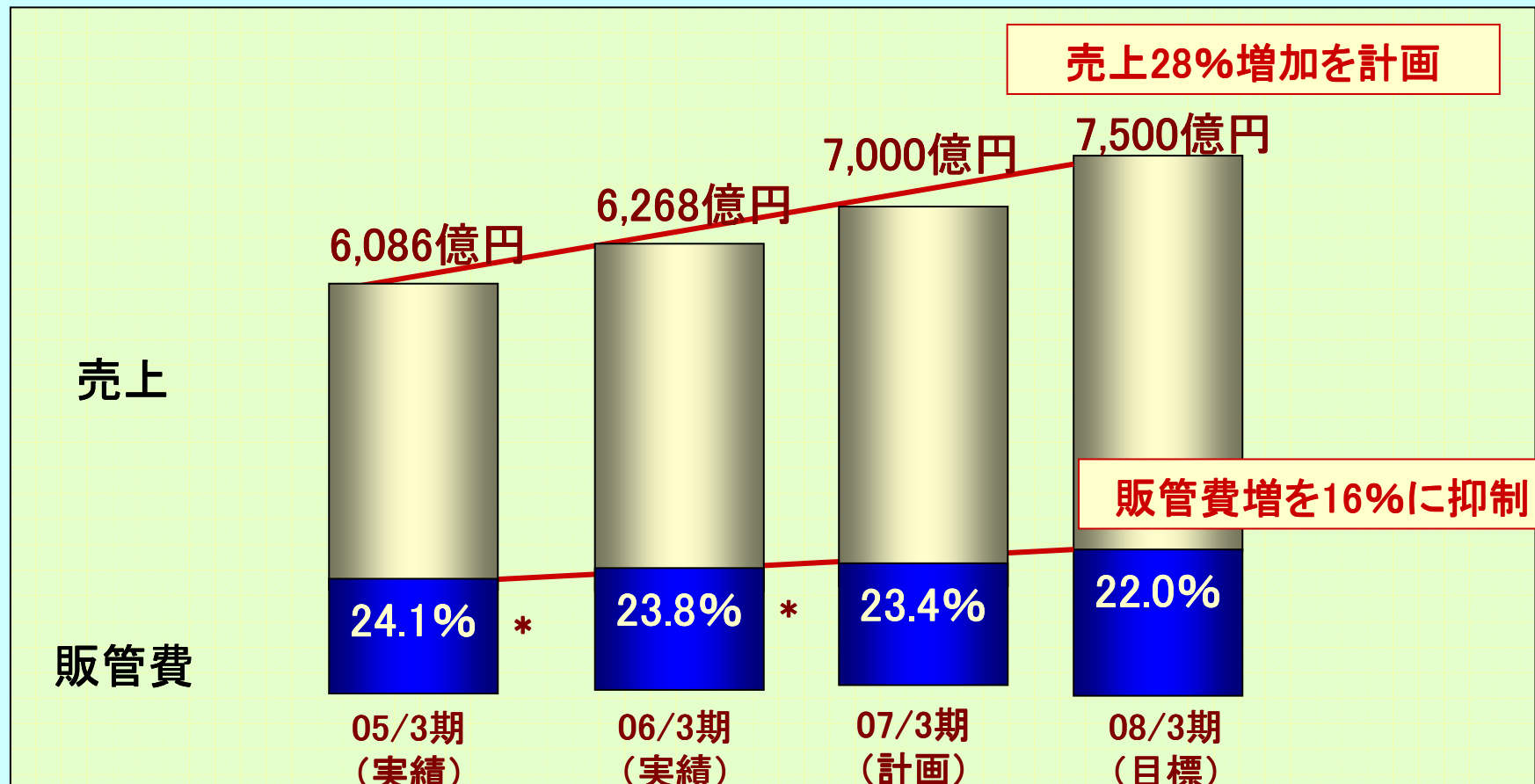
目標の製造固定費比率15%達成に向け、中華圏への生産シフトを継続  
中華圏生産比率は06年度も増加を維持し、07年度30%程度に達する

生産構造改革



# 重点戦略の進捗状況 (4) 販管費構造改革

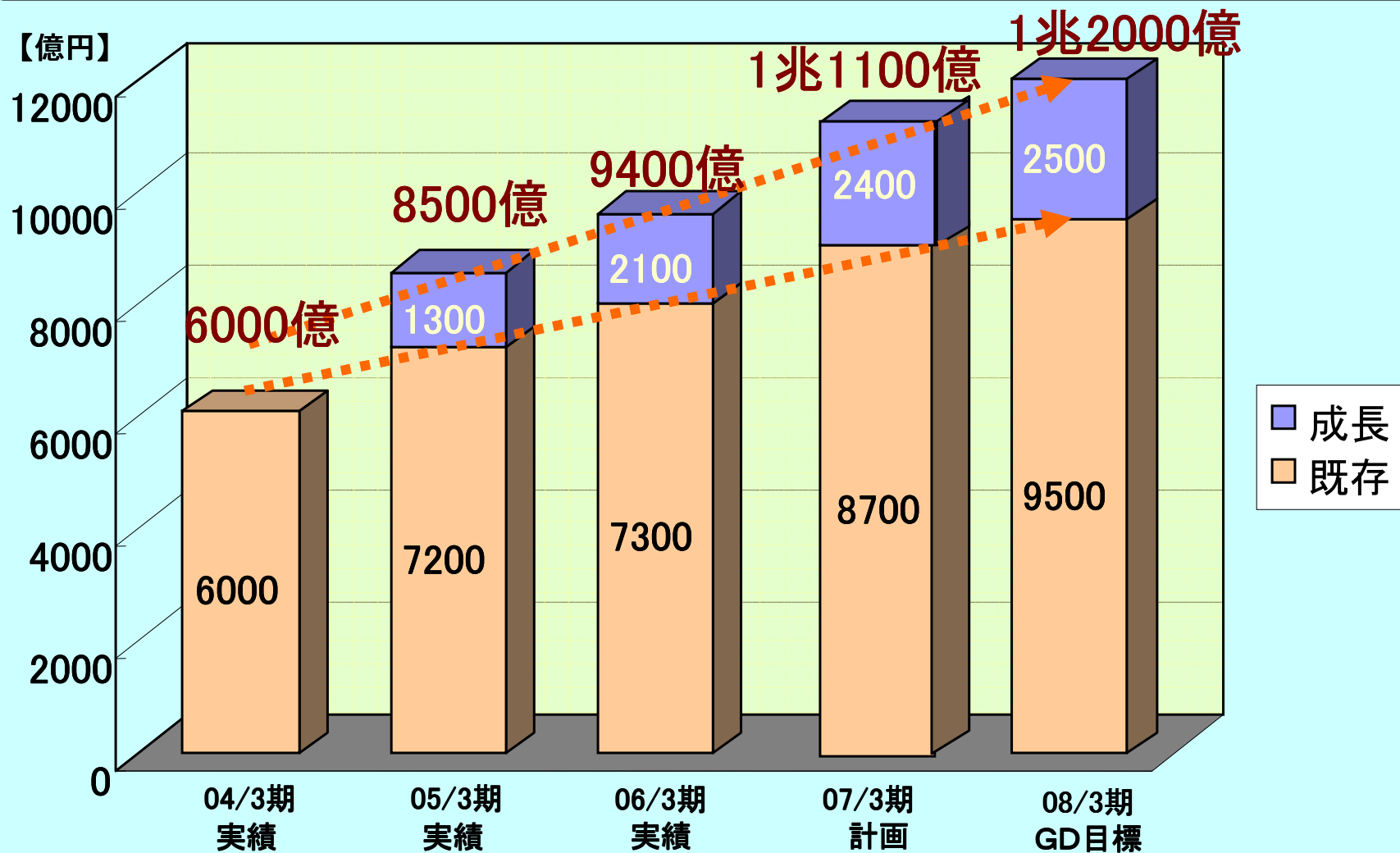
目標の販管費比率22%達成に向け、事業部門、本社部門とも  
継続した販管費の抑制を図る



\* 注) 上記販管費の05/3期実績は、規制化学物質対応、金融機器事業を除く。06/3期実績は、規制化学物質対応を除く。

# 中期目標「事業価値倍増」 の進捗状況

事業価値(独自算出)は2007年3月期末でGD目標が視野に







## 4. 利益配分に関する基本方針

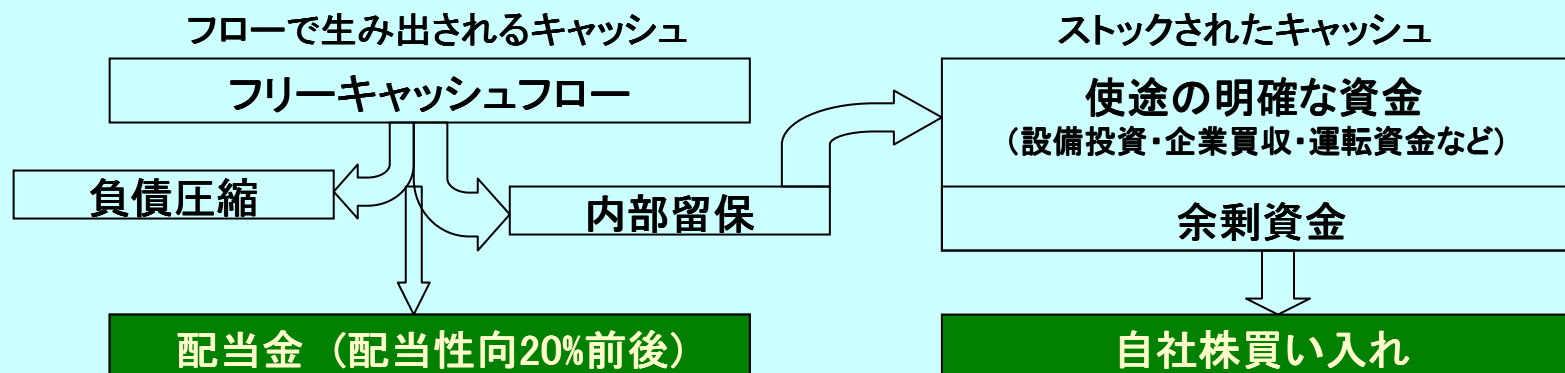


# 利益配分に関する基本方針

**2006年3月期の年間配当金を30円に増額予定  
2007年3月期の年間配当金も30円を継続予定**

## 【基本方針】

- (1) 企業価値向上に向けた成長投資のための**内部留保を第一優先**
- (2) 残余利益については、フリーキャッシュフローのレベルも勘案し可能な限り、株主の皆様へ還元
- (3) 毎年の**配当金は連結当期利益の20%前後の配当性向を目標**  
ただし万一当社業績が悪化する場合にも、**年間10円の配当金は長期安定配当として最低限維持**
- (4) 長期にわたり留保された余剰資金は、自己株買入れなどにより機動的に株主の皆様へ還元





人と機械のベストマッチングをめざして



# オムロン株式会社

＜お問い合わせ＞

財務IR室 経営IR部

電話： 03-3436-7170

Email: [omron\\_ir@omron.co.jp](mailto:omron_ir@omron.co.jp)

HPアドレス: [www.omron.co.jp](http://www.omron.co.jp)

